

第1号様式

(第1面)

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	鷺沼駅前地区再開発準備組合 理事長 原 修一			
主たる事務所又は 事業所の所在地	東京都渋谷区桜丘町31番2号 東急桜丘町ビル			
開発事業の名称	(仮称) 鷺沼駅前地区第一種市街地再開発事業			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市宮前区鷺沼三丁目1番2ほか			
開発事業の目的	商業施設・公共施設・集合住宅・交通広場の建設			
工事の着手 予定年月日	令和3年12月(着手予定)			
工事の完了 予定年月日	令和12年1月(完了予定)			
開発事業の概要	区域面積	約22,560 m ²		
	延べ面積	約115,000 m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	延べ面積	備考
	1	商業施設・公共施設・ 集合住宅・交通広場等	約86,000 m ²	駅前街区
	2	公共施設・集合住宅	約29,000 m ²	北街区
		床面積の合計	約115,000 m ²	

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設備には、ヒートポンプ式エアコンを選定し、ガス給湯器は潜熱回収型高効率給湯器を選定する。 ・供用エリアには、LED など高効率照明機器を採用する。 ・住宅の窓開口をできる限り大きくし、自然光により照明のエネルギー使用量の削減を図る。 ・断熱性能の向上に努め、省エネルギー対策を検討する。
	ヒートアイランド現象の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部空調室外機等の分散配置により、排熱負荷の平準化を図る。 ・緑化地など人工被覆改善により、地表面の温度上昇の抑制に努める。 ・建物の周囲を中心に積極的に緑化地を確保するとともに、大景木・高木・中木などの日影形成による地表面の温度上昇の抑制を図る。
	交通環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・適正規模の駐車場・駐輪場を設置することで、利用環境の整備を図る。 ・居住者、来客者及び運搬事業者に対しては、掲示板等により、アイドリングストップ等のエコドライブの協力を促す。 ・居住者及び来客者等には、できる限り公共交通機関の利用を促す。
	緑地の保全と緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の周囲を中心に積極的に緑化地を確保するとともに、屋上緑化・壁面緑化等を導入するなど、可能な限り緑化に努め、屋内の気温上昇の抑制や地表面の温度上昇の抑制を図る。 ・植栽予定樹種は、大景木、高木、中木、低木、地被類など、常緑、落葉等を組合せ、多様な緑を創出するとともに、花や実のなる木等による季節感への配慮や、緑陰などにも配慮する。 ・樹木の健全な育成を図るため、年間維持管理計画を作成し、適切な剪定、刈込、施肥、病虫害駆除、除草等を実施する。
	工事に係る配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り最新の排出ガス対策型及び低燃費型の建設機械及び工事用車両を採用する。 ・建設機械及び工事用車両は、アイドリングストップ等のエコドライブを徹底するため、運転者への指導を徹底する。 ・適切な施工計画により、工事用車両の一時的な発生集中を抑制し、円滑な運行を図る。 ・建設資材は、再生品や再利用が可能な材料の使用に努める。 ・建設機械及び工事用車両の整備・点検を徹底する。
	その他	
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	<input checked="" type="checkbox"/> 導入する <input type="checkbox"/> 導入しない
	導入機器	太陽光発電設備

(第3面)

	棟番号	評価の目標
特定建築物の 評価の目標	1 商業施設・ 公共施設・ 集合住宅・ 交通広場等	総合評価 A 以上
	2 公共施設・ 集合住宅	総合評価 A 以上
備考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所/学校/物販店/飲食店/集会所/工場/病院/ホテル/住宅/その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例（平成 11 年 川崎市条例第 50 号）第 127 条の 4 第 1 項の特定建築物に該当する場合、同項第 5 号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。